



Arcserve Replication/ High Availability 18.0 新機能のご紹介



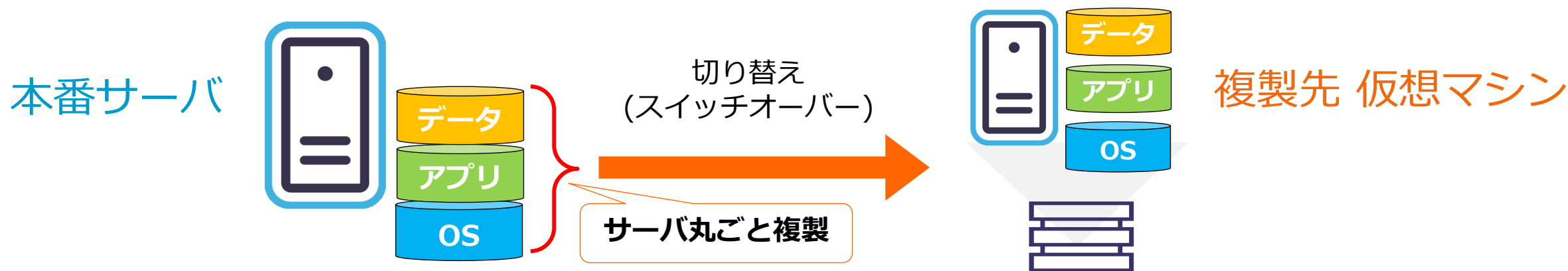
資料の内容

- Arcserve Replication / High Availability 18.0 新機能/拡張機能
- Service Pack でのプラットフォーム/アプリケーション対応と機能追加
 - Service Pack 1 (SP1)
 - Service Pack 2 (SP2)
 - Service Pack 3 (SP3)
 - Service Pack 3a (SP3a)
 - Service Pack 3b (SP3b)
 - Service Pack 3c (SP3c)
 - Service Pack 3d (SP3d)



新機能！ フルシステム シナリオ でサーバを丸ごと複製

- システム全体(データ/アプリ/ Windows または Linux OS)をリアルタイム複製
- 複製先は仮想環境やクラウドを利用
- 切り替えは自動または手動で仮想マシンを起動するだけ



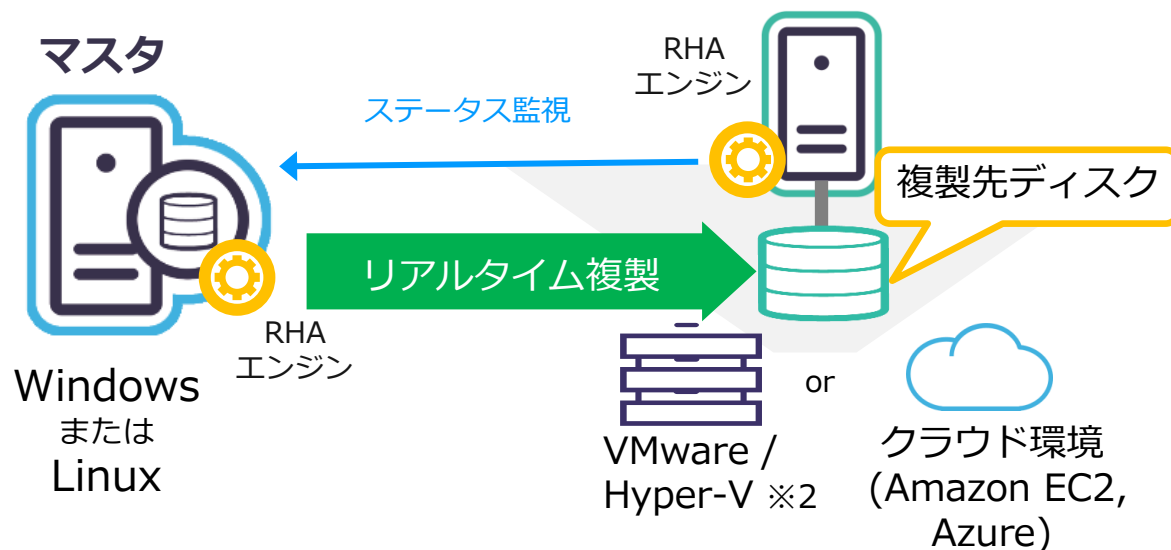
切り替え直前のシステムで、直ぐに業務が再開できる (RTO / RPO の短縮)



新機能！ フルシステム シナリオ のサーバ構成と仕組み

通常時

仮想アプライアンス ※1
(フルシステム シナリオ用VM)

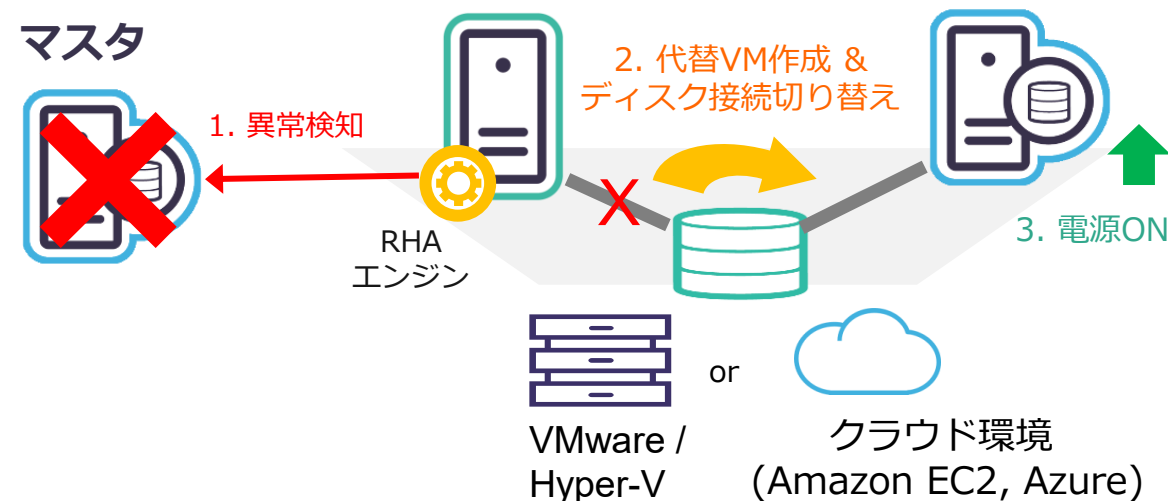


- ・ マスタのボリュームごと仮想ディスクへ複製
- ・ 複数マスタと仮想アプライアンス(※2)の N対 1 構成が可能
- ・ 代替VM用のRHAライセンスは不要
(マスタと仮想アプライアンスまたはHyper-Vホスト(※2)のみ)

障害時

仮想アプライアンス ※1
(フルシステム シナリオ用VM)

代替VM



- ・ マスタの異常検知後、代替VMの起動まで自動化可能
- ・ 異常検知は PING 以外に特定サービスの指定も可
- ・ 切り替え時に代替VMのIPアドレスの変更が可能

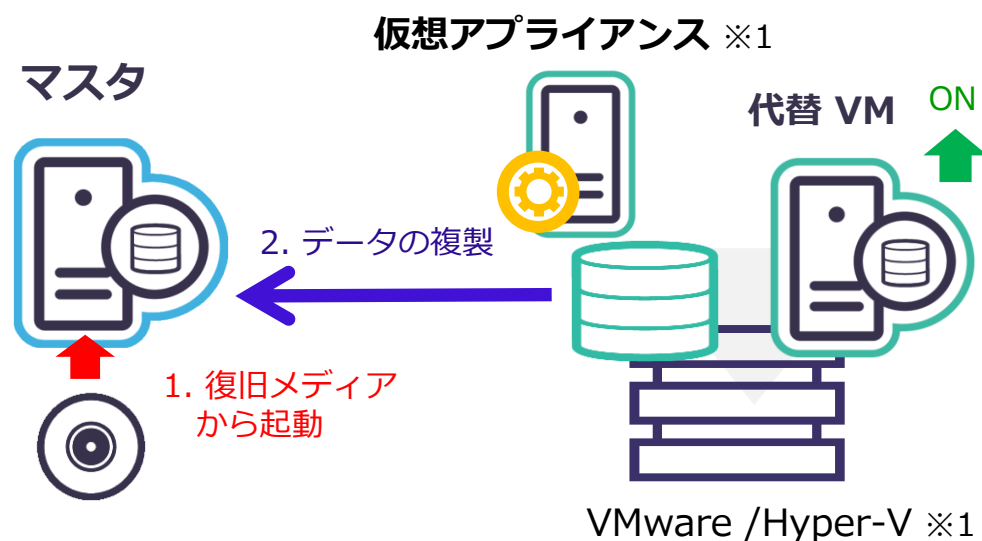
※1 コントロールサービス混在可

※2 マスタがWindows OSでHyper-V環境が複製先の場合はHyper-Vホストにエンジンを導入(仮想アプライアンス不要)



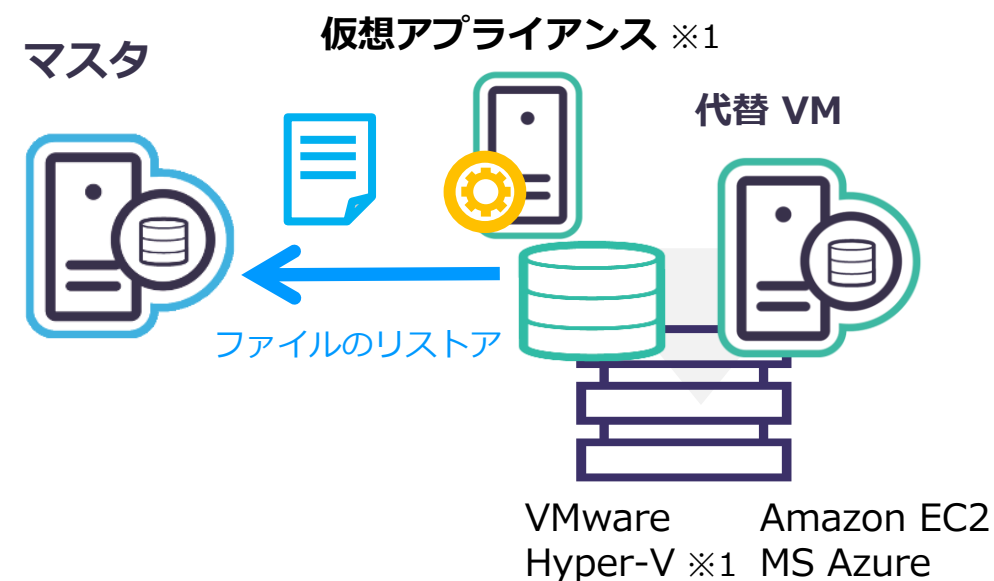
新機能！ フルシステム シナリオ を使った復旧

Windows サーバ復旧



- ・マスタへのデータの複製中も代替VMによる業務継続が可能
- ・複製中に代替VMに加えた変更も、マスタに反映可

ファイル単位リストア



- ・Windows / Linux のファイルやフォルダをリストア
- ・代替VMの最新データをリストア可 ※2

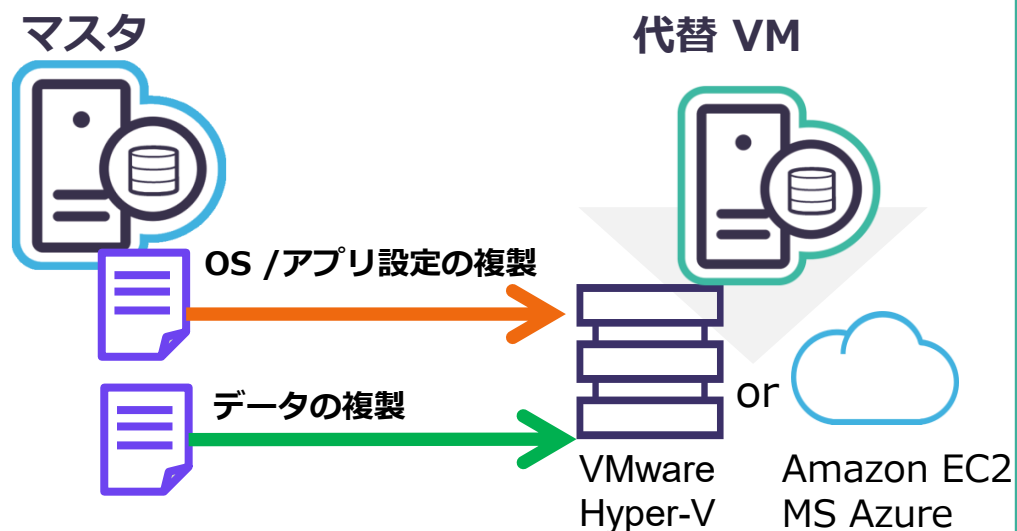
※1 マスタがWindows OSでHyper-V環境が複製先の場合はHyper-Vホストを使用

※2 リストア中の代替VMは電源OFF



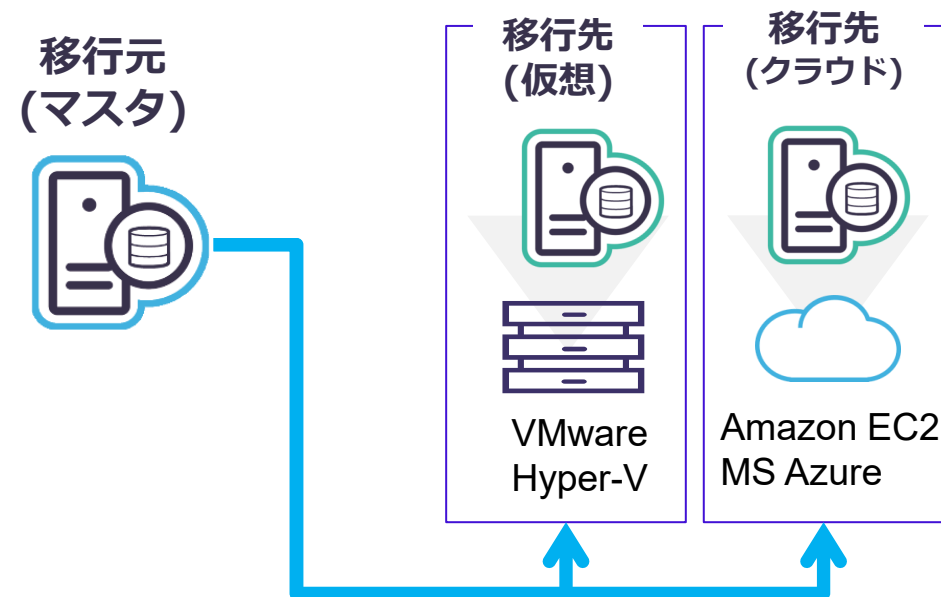
新機能！ フルシステム シナリオ の利用例

仮想環境を利用した業務継続（代替運用）



- ・ 既存シナリオが対応するアプリ以外もリアルタイムに複製可能
- ・ 代替VMへの切り替え確認もアシュアードリカバリでいつでも簡単に実施可能

仮想環境やクラウドへの移行目的

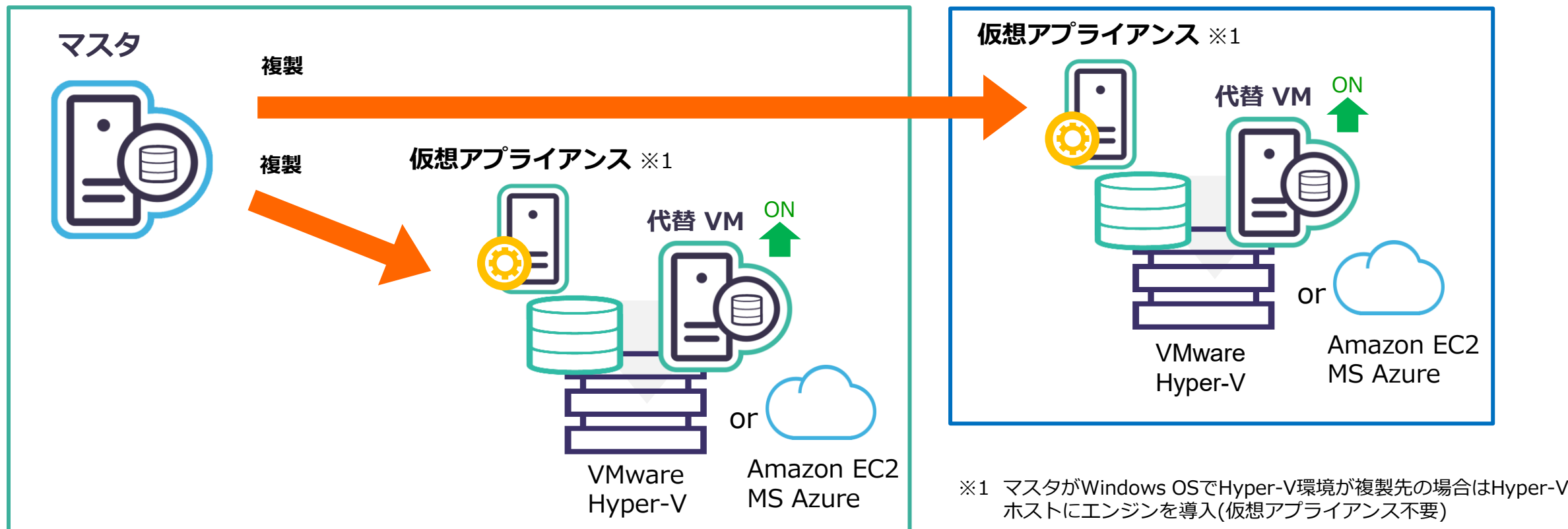


- ・ 簡単な移行手順
(移行元サーバを停止して移行先を開始するだけ)
- ・ 移行の作業時間を最小化



新機能！

フルシステム シナリオ 1対2構成



拠点内のフルシステムシナリオと遠隔地へのフルシステムシナリオなど
災害に備えたシナリオの1対2構成に対応



Arcserve RHA 18.0/プラットフォーム・その他の機能追加

- Microsoft Windows Server **2019**
- **Linux 対応** (フルシステム シナリオ)
- **Hyper-V CSV 対応** (Hyper-V シナリオ、フルシステム シナリオ)
- **グループ管理機能の拡張**

関連記事 : [Arcserve Replication/HA 18.0 で複数のシナリオをまとめて操作できるようになりました。](#)

- **Windows イベントログとの連携**

関連記事 : [Arcserve Replication/HA 18.0 で Windows イベント ログの イベント ID が記録されるようになりました。](#)

- **RPOモニタリング**

関連記事 : [Arcserve Replication/HA 18.0 で RPO 違反を通知できるようになりました。](#)



Arcserve RHA 18.0 SP1 /プラットフォーム対応

- 利用可能なブラウザ
 - Google Chrome 76 以降
 - Mozilla Firefox 69 以降
- アプリケーションシナリオ
 - Oracle Database 19c
- フルシステムシナリオ マスタ (Linux)
 - Red Hat Enterprise Linux 7.7
 - CentOS 7.7
 - Oracle Linux 7.7
 - SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1



Arcserve RHA 18.0 **SP2** /プラットフォーム・その他の機能追加

- フルシステム シナリオ の 仮想プラットフォーム（複製先）
 - **Scale Computing HC3**
- フルシステム シナリオのEC2 レプリカインスタンス
 - **Elastic Network Adapter (ENA) の利用をサポート**
- フルシステム シナリオ 仮想アプライアンス（Linux）
 - **Red Hat Enterprise Linux 7.7**
 - **CentOS 7.7**
- アプリケーション シナリオ
 - **Microsoft SQL Server 2012 SP4 / 2014 SP3 / 2016 SP2 / 2019**
 - **IIS 10（Windows Server 2019）**
 - **Oracle Database 18c**



Arcserve RHA 18.0 **SP3** /プラットフォーム・その他の機能追加

- フルシステム シナリオ の 仮想プラットフォーム（複製先）
 - **vSphere 7.0**
- フルシステム シナリオ マスタ (Linux)
 - **Red Hat Enterprise Linux 7.8 , 8.0 , 8.1 , 8.2**
 - **CentOS 7.8 , 8.0 , 8.1 , 8.2**
- フルシステム シナリオ 仮想アプライアンス (Linux)
 - **Red Hat Enterprise Linux 7.8**
 - **CentOS 7.8**
- Linux インストールの拡張
 - **エンジン インストール時の指定で、自動アップデートを有効化**



Arcserve RHA 18.0 **SP3a** /プラットフォーム・その他の機能追加

- Microsoft Windows Server **2022**
Microsoft Windows Server **2022** Hyper-V
対応アプリケーションは[動作要件](#)をご確認ください
- アプリケーション シナリオ
 - Microsoft SQL Server 2022
- 利用可能なブラウザの拡張
 - Microsoft Edge 全バージョン
- フルシステム シナリオ UEFI boot対応 (**Azureへのレプリケーション**)
- Linux 機能拡張
 - シナリオグループ管理



Arcserve RHA 18.0 SP3b /プラットフォーム対応

- Windows Server Failover Cluster 環境でのファイル サーバ シナリオ
 - Windows Server 2022
- フルシステム シナリオ マスタ (Linux)
 - Red Hat Enterprise Linux 7.9、8.7 ~ 8.10、9.0 ~ 9.4
 - Oracle Linux (Red Hat 互換 / UEK) 7.8 ~ 7.9、8.0 ~ 8.10、9.0 ~ 9.4
 - 注: Oracle Linux 8 uek 6 カーネルは、5.4.17-2136.331 までサポート
 - 注: Oracle Linux 8 uek 7 カーネルは、5.15.0-206 までサポート
 - 注: Oracle Linux 9 uek 7 カーネルは、5.15.0-206 までサポート
 - AlmaLinux 8.0 ~ 8.10 、 9.0 ~ 9.4
 - Rocky Linux 8.0 ~ 8.10、 9.0 ~ 9.4
- フルシステム シナリオ 仮想アプライアンス (Linux)
 - Red Hat Enterprise Linux 7.9
 - CentOS 7.9



Arcserve RHA 18.0 SP3c /プラットフォーム対応

- ファイル サーバ(DR)シナリオのWindows Server 2025対応
- Windows Server 2025へのインストール対応モジュール
 - コントロール サービス
 - RHA エンジン



Arcserve RHA 18.0 **SP3d** /プラットフォーム対応

- 各種シナリオでの Windows Server 2025 対応
 - ファイル サーバ シナリオ (HA シナリオ)
 - フルシステム シナリオ (DR/HA シナリオ, 仮想アプライアンス含む)
 - Hyper-V シナリオ (DR/HA シナリオ)
 - コントロール サービス シナリオ (DR/HA シナリオ)
- アプリケーション シナリオ
 - SQL Server 2022 (DR/HA シナリオ)
 - Oracle Database 19c (DR/HA シナリオ)
 - IIS 10.0 (DR/HA シナリオ)
- 各種シナリオでの Windows Server IoT 2025 for Storage 対応
 - ファイル サーバ シナリオ (HA シナリオ)
 - コントロール サービス シナリオ (DR/HA シナリオ)

※ DR (データ レプリケーション) シナリオ: Arcserve Replication で使用するシナリオ
HA (ハイ アベイラビリティ) シナリオ: Arcserve High Availability でのみ使用できるシナリオ



Arcserve RHA 18.0 の無償トライアルと各種資料

無償トライアル版は30日間ご利用頂けます。

Arcserve RHAの導入を検討される場合には、評価版の利用をお勧めします。

また、インストールガイドなど各種資料については以下のカタログセンターから入手頂けます。



Arcserve RHA の 無償トライアル

お申し込みフォーム : <https://www.arcserve.com/jp/free-rha-software-trial/>



Arcserve ポータルサイト : [arcserve.com/jp](https://www.arcserve.com/jp) カタログセンター (カタログ、技術資料)

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center>

Arcserve カタログセンター

検索





arcserve®

【変更履歴】

2019年05月	Rev1.0	初版
2020年05月	Rev1.1	SP2リリース
2020年10月	Rev1.2	SP3リリース
2020年11月	Rev1.3	SP1/SP2の対応プラットフォーム一部修正
2021年10月	Rev1.4	フルシステム シナリオの1対2構成ページを追加
2022年09月	Rev1.5	SP3aリリース
2025年02月	Rev1.6	SP3bリリース
2025年05月	Rev1.7	SP3cリリース
2025年06月	Rev1.8	SP3aにMicrosoft SQL Server 2022対応追加
2025年09月	Rev1.9	アジェンダ追加、SP3dリリース